

滋野地区は、小学校区単位の地域づくりのモデル地区として、平成23年5月から検討委員会を立ち上げ、これからの滋野地区のあり方やより良い地域づくりについて議論を重ねてきました。(現在、推進委員は34名で組織されている)

その議論の中で、滋野地区を代表する組織づくりを検討し、滋野地区の地域資源や誇りを感じる地域づくりを地域住民が自ら考え取組むことの必要性を皆の委員が確認し、既存組織の「滋野地区活性化研究委員会」と「滋野地区生涯学習まちづくり推進協議会」、「滋野地区育成会」を統合し、新たな組織に再編することで方針決定したものです。

これは、長年の懸案であった2つの組織において重複する委員の軽減と重複する事業活動の合理化などを解消するための組織統合です。

また、新たな組織ではこれまでの事業を踏襲するだけでなく、将来の滋野地区のあり方や課題の集約と解決策、地域資源の活用などにも取り組むことで確認がされました。

新たな組織の名称は「しげの里づくりの会」とし、平成25年4月の設立を目指す中で、今後も「滋野地域づくり推進委員会」で地域計画づくりや委員選出などの作業を進めることになっています。

滋野地区の区民の皆さんに、このかわら版を通じて地域づくり推進委員会の活動をお知らせするとともに、今後地区の住民としてどのような関わりをもって「しげの里づくりの会」を支え、どのように盛り上げていくか、育てていくかを皆で考えていただきたいと思います。



H24年11月14日開催の関係者合同会議で  
新たな組織づくりが満場一致で合意されました。



長野大学の教授による先進地事例研修会  
沖縄県石垣島白保地区の取組み事例について研修  
しました。



推進委員会が企画し長野大学の学生も参加！  
子供たちとふれあう「滋野ふれあい子供塾」が  
9月29日に開催されました。

考えようみんなで、しげの地区の未来を!

はじめようみんなで、しげの地区の活動を!